

平成 25 年 11 月 11 日

西会津町議会議長 武藤 道 廣 様

議会報告会 1 班
班長 青木 照夫

議会報告会（1 班）報告書

議会報告会の内容と結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接批判や意見などを聞き、議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 日 時 平成 25 年 11 月 5 日（火）午後 6 時 30 分～
3. 開 催 地 奥川地区 奥川みらい交流館
4. 参 加 者 奥川地区自治区連絡協議会会長ほか 13 名
5. 出席議員 武藤 道廣、清野 佐一、多賀 剛、青木 照夫、長谷沼 清吉、鈴木 満子、渡部 憲、猪俣 常三、小柴 敬
6. 内 容 以下のとおり
司会進行：多賀 剛
議員代表挨拶：武藤 道廣
区長挨拶：奥川地区自治区連絡協議会会長 玉木 達雄
出席議員の紹介：自己紹介
趣旨説明：清野 佐一
議会報告：青木 照夫
記録担当：小柴 敬
受付担当：渡部 憲、猪俣 常三
7. 添付書類 出席者名簿、アンケート調査

「質疑応答」

Q：西会津高校の存続が危ぶまれているが、どのように対処しているか。

A：教育長を先頭に、各地区の中学校に出向いてお願いしている。奨学金、交通費の補助等西高生への優遇を図っている。

Q：過疎高齢化が進んでいるが、議会として現状打開策は。

A：結論として特効薬はない。急速に進む過疎高齢化に対し、今いる人々が一生懸命に取り組む以外に方法がないのが現状である。集落支援員や地域おこし協力隊を増員できるよう 12 月定例議会で提案していく。

Q：積立金の内容が良くわからない。

A：庁舎整備基金や国保基金などの特定目的基金以外の財政調整基金等の総額である。

Q：奥川地区には公共施設が多いが、それらについて議員の感想を問う。

A：地域の人々がそれぞれ大切に利活用している。今後も応援していきたい。

Q：奥川の寄宿舎が利用できず、安価に宿泊できる場所がない。宿泊施設の提供をお願いしたい。

A：寄宿舎の管理が総務課になったので、要望に応えられるよう相談してみる。

Q：この夏、横浜市鶴見区の子供たちと「川遊び体験」を通じて交流の機会を持った。西会津町が、鶴見区など交流地区の食糧庫として利活用していただけるとありがたいが、地域の良さを他へ PR していくこと等、議会が率先して進めていっていただききたいが。

A：今後も継続していくよう働きかけをしていく。鶴見区からも今後の支援をいただけることにな

っている。棚倉町との共同のアンテナショップであるが、ブルーベリーなどは西会津産の方が味や食感が良いとお褒めいただいている。

Q：地域づくりは子供づくりとよく言われるが、再来年には西会津小学校が新築される。議会として小学校教育に対し、今後のいろいろな提案を期待する。

A：(要望事項として聞き取る)

Q：町の収入の中で、自己財源が6億円しかないが、今後やっていけるのか。

A：地方交付税交付金は、国からの大事な支援財源である。交付税なくしては、町の運営管理は不可能である。今後も、廃止などされないよう国に働きかけていく。

Q：町の借金が多いが、貯金(財政調整基金)から少しでも早く返済したほうがいいのではないかなと思うが、いかがか。

A：借金については、ひも付きのものもあり、出し入れには十分注意している。借り入れよりも返済を多くするように努力はしている。財調(財政調整基金)は10%あればいいといわれており、町は少し余計に貯めている。

参考に、繰上げ返済は、国からの借金については出来ない仕組みになっている。

Q：小中高一貫教育の考えはないか。

A：個人の考え方であり、視察した阿賀町でも町外の高校へ進学する生徒もいる。新潟県では、今後津川町などを参考に、教育の見直しを検討しているようだ。

Q：一般質問が重複しているが、事前に調整できないか。

A：議員個人の意見や問いかけ、聞き方、話し方も違っており、質問については、期別の若い議員からの順番としている。経験議員はなるべく重複しないよう心がけている。

Q：財調は10%としておき、余分なお金で何か意義のある仕事が出来ないか。

A：野沢保育所の先生方は、現在プレハブ小屋に事務所をかまえている。議会としても特別委員会を含め、保育所建設に早急に対応して行きたい。地域の人々の声を、議会としても町に提案して行くべく取りまとめるつもりである。このような機会が、地域の声を聞く絶好の機会である。

Q：基本条例の効力について問う。

A：町としての基本条例が策定され、議会の中でも我々議員のあり方を定めようと策定されたものである。議会内部の議員の資質向上をも含めての条例と考えていただききたい。基本条例により、議会の権限の向上を図り、活性化した議会、住民のための議会を目指していきたい。

Q：税金の滞納はどうなっているか。

A：納税組合があったころは、他人の目もあり納税率は高かったようだ。個人情報保護により、各人の口座からの引き落としになってから、滞納者が増加してきたようだ。不能欠損(引落とし不能)は5年経過後の不在や不明者に限られていたが、年金受給者などからは、少しずつでも納税していただくよう税等徴収対策本部なども設置し対応している。

*以下の項目については、要望事項として意見聴取した。

○奥川保育所のトイレの修繕について。

○奥川地区の定期バス運行の要望。

○一昨年実施したリフォーム補助金の復活。

○防災拠点としての奥川みらい交流館は周辺用水路などに不備があり、当該箇所の改修を要望する。

○奥川みらい交流館会議室の冷暖房を要望する。

平成25年11月26日

西会津町議会議長 武藤道廣 様

議会報告会2班 班長 五十嵐忠比古

議 会 報 告 会 (2班) 報 告 書

議会報告会の内容とその結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接意見や提言・要望を聞き議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 開催日時 平成25年11月8日(金)午後6時30分～8時02分
3. 開催地 新郷連絡所
4. 参加者 新郷地区自治区長連絡協議会会長上野進他14名
5. 出席議員 五十嵐忠比古 荒海清隆 伊藤一男 長谷川義雄 三留正義 武藤道廣
清野佐一 多賀 剛
6. 報告内容 議会報告会報告書(別紙のとおり)

西会津町議会報告会（2班）の報告書（新郷地区）

日時：平成25年11月8日（金）午後6：30～8：02まで

場所：新郷連絡所

【9月議会定例会質疑】

Q：地方交付税の額は将来的にどのように推移するのか。不安はないか。

A：地方交付税は本町の標準的な財政規模で、行政運営できるよう人口などを基準として計算されている。将来については種々未確定の部分があるが、現時点では不安はない。

【議会要望】

班長提起：奥川地区の議会報告会では、「一般質問」で同じ内容の重複質問は避けてほしい旨の要望がありましたが、皆さんはいかがでしょう。

Q：やはり一般質問の重複はさけてほしい。ならば別の質問をしてほしい。

A：現在は、議員個人の意見を尊重して調整はしていないが、今後の課題であると認識している。

Q：議会広報の誤字などにはもっと細心の注意を払って欲しい。

A：承知しました。

Q：本日は区長が多いようだが、もっと広く一般の住民の方々の参加を求めるべきだ。

A：今後、議会報告会の広報手法も検討していきたい。

【行政要望】

Q：旧新郷小学校グラウンドに自動車を乗り入れないように要望する。

A：持ち帰って、町側と協議しご期待にそえるようにしたい。

Q：町道等で支障木に覆われたよう場所が多く見られる。場所によっては車両に接触するような場所もあるので整備してほしい。

A：持ち帰って、町側と協議して改善に努めたい。

平成 25 年 11 月 13 日

西会津町議会議長 武藤 道 廣 様

議会報告会 1 班
班長 青木 照夫

議会報告会（1 班）報告書

議会報告会の内容と結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接批判や意見などを聞き、議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 日 時 平成 25 年 11 月 11 日（月）午後 6 時 30 分～
3. 開催地 群岡地区 保健センター
4. 参加者 群岡自治区連絡協議会会長ほか 12 名
5. 出席議員 武藤 道廣、清野 佐一、多賀 剛、青木 照夫、長谷沼 清吉、鈴木 満子、渡部 憲、猪俣 常三、小柴 敬
6. 内 容 以下のとおり
司会進行：多賀 剛
議員代表挨拶：武藤 道廣
区長挨拶：群岡地区自治区長連絡協議会会長 佐藤 忠正
出席議員の紹介：自己紹介
趣旨説明：清野 佐一
議会報告：青木 照夫
記録担当：小柴 敬
受付担当：渡部 憲、猪俣 常三
7. 添付書類 出席者名簿、アンケート調査

「質疑応答」

Q：①今回までの 3 ヶ所の出席人数は。

②1 班 6 名、2 班 5 名と、人数にばらつきがあるが、今後いかに対応するのか。

A：①3 ヶ所の出席人数は合計 39 名である。

②今回、1 班が 3 ヶ所、2 班が 2 ヶ所で実施する。3 月議会終了後に、各班を入れ替えして報告会を実施するので、公平に分担することになる。

Q：①集まった人数が少ないように思うが。

②報告会の実施予定は。

A：①議会広報、ケーブルテレビ、チラシなどで参加を呼びかけたが、なにぶん初めてのことであり、基本条例の説明会でも出席者は少なかった。今後、回を重ねるごとに参加者が増えてくることを望む。町外の議会にても初めて説明会を実施したところ、2～3 名という実績も聞いている。

②9 月定例議会終了後および 3 月定例議会終了後の年 2 回の実施を考えている。各自治区での要望があれば出張説明も考えたい。とりあえず年 2 回、各地区の会場の場所も変えて実施して行きたい。

Q：報告会を各地区で実施するわけだが、パフォーマンスで終わってほしくない。町長が「みんなの声が響く町」とタイトルを掲げているが、デマンドバスの定期運行を期待する住民の声に、町は対応し切れていないのが現状である。

町長の目安箱の考えは良かったが、返事は「検討、検討」と前向きな声が聞こえてこない。町

民の声を、しっかりと反映してもらいたい。

今回の内容の報告は、いつ、いかなる手段で発表するのか。

A：5ヶ所の議会報告会終了後、町に対する要望、意見などそれぞれの内容を議長に報告し、議長がそれらをまとめる。要望事項などについては、町当局に返答いただく。12月の議会広報や、その他の手段を使用して町民に報告したい。

Q：目安箱のようになってほしくないが。

A：我々議会は、執行権を持っていないが、くりかえし町に要望して行きたい。地域の課題に、我々がどれだけ関わっていけるのかを検討して行く。政策提言の場と考えている。目安箱の件については、随時町長に問いかけていく。

Q：①議会の質問で、同一の質問が多く感じる。

②質問事項に対し、もう一步の押しが足りない。確認議会にはなっていないか。「検討させていただきます」の声が多いが、その後のフォローはしているのか。

A：①一般質問の場合、通告書の提示を求められている。その後議会運営委員会（議運）にかけて検討している。議員個人の質問内容を尊重し、かつ期別の若い議員から通告書を受け付けており、今後、検討して行きたい。

②議員によっては、その後担当課に行き、追跡している。

○意見・提言について

1. 「基本条例の中には、町と議会は対等である。」と記載されている。車の両輪にも例えられており、同じ方向をむいて力を合わせて活動して行ってほしい。

2. 群岡中学校の垣根について、刈り込みを町に依頼したがなかなか重い腰を上げてもらえなかったため、ボランティアにより実施した。防犯や交通事故の防止も兼ねて実施したものであり、今後は町による実施をお願いしたい。

3. かつて、自分が十代のころは2万人の人口があったように思うが、いまや7千人に減少している。これを打開するために、「福祉で日本一の町」を提案したい。

「姥捨て山」と呼ばれようが、大胆な発想を持ってもらいたい。全国から老人を集め、福祉施設を充実させる。若い介護士を採用すれば、当然カップルも生まれ、結婚、子育てとつながって行くことが考えられる。

企業誘致など、到底望めない今、「福祉充実の日本一の町」づくりを提案する。

また、老人を預ける家族は、最低月一回町を訪れる条件付とする。

Q：各自治区から町への要望事項は、自治区長を通して行っているが、かつては「あの議員に頼めばなんとかなる。」といった時代もあったように思う。議員に直接お願いしてもよいのか。

A：今回のような機会などで要望事項を提出してもらおうのも一手である。

それぞれの自治区での問題を持ち帰り、各委員会で検討、提案、報告という手法を取って行きたい。

平成25年11月26日

西会津町議会議長 武藤道廣 様

議会報告会2班 班長 五十嵐忠比古

議 会 報 告 会 (2班) 報 告 書

議会報告会の内容とその結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接意見や提言・要望を聞き
議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 開催日時 平成25年11月14日(金)午後6時30分～8時08分
3. 開催地 西会津町林業研修センター
4. 参加者 尾野本地区自治区長連絡協議会会長渡部啓他17名
5. 出席議員 五十嵐忠比古 荒海清隆 伊藤一男 長谷川義雄 三留正義 武藤道廣
清野佐一 多賀 剛
6. 報告内容 議会報告会報告書(別紙のとおり)

西会津町議会報告会（2班）の報告書（尾野本地区）

日 時：平成25年11月8日（金）午後6：30～8：08まで

場 所：西会津町林業研修センター

【質疑応答】

Q：今報告会は9月議会定例会とのことであるが、今後の議会報告会の計画はどのようになっているのか。

A：議会報告会は、3月の予算議会と9月の決算議会の折に議会報告会を実施する計画である。（年2回開催と考えている）

Q：商業団地事業に進展がみられないが、議会としてはどのように対応してきたのか。

A：商業団地事業はA区画については、施設建設の計画が進んでいますので、事業そのものは進んでいるのでご理解いただきたい。

現在までの取り組みとしては、当時委員会を設け町民の意見を伺った。次に商工会や商店の皆さんから住宅併用で申込みたい旨であった。そして道の駅建設の構想が出され議会も同意したが、国の許可が下りなかった。その後新潟の道の駅から郡山間に何もない旨を訴え続け、やっと国の許可が下り現在に至った。

Q：議員の研修とはどのようなものがあるのか。

A：県・国レベルの議長会主催の議長・副議長研修会。議員代表や議会広報について県主催の研修会。会津耶麻で年4回開催の主に大学の講師による研修。総務・経済・議会運営委員会や特別委員会の先進地等の管外研修などがある。

Q：総務常任委員会で、中高一貫校である阿賀黎明の学校を事務調査したのは、西会津高等学校存続のためか。

A：西会津高等学校存続については目的の一部ではあるが、先進的に中高一貫校として「地元の子供たちは地元で育てる」精神や、地元の子供が地元に残る政策等を調査視察した。

【議会要望】

Q：議員の質問内容等で笑うのはやめてもらいたい。

A：要望として承ります。

【行政要望】

Q：森野地区で防災行政無線が聞き取りにくい。（音が割れるような感じ）

A：持ち帰って、町側と協議する。

Q：松尾萱本村中線改良工事を11月5日に陳情したので予算に結びつくようお願いしたい。

A：持ち帰って、町側と協議する。

平成 25 年 11 月 20 日

西会津町議会議員 武藤 道 廣 様

議会報告会 1 班
班長 青木 照夫

議会報告会（1 班）報告書

議会報告会の内容と結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接批判や意見などを聞き、議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 日 時 平成 25 年 11 月 15 日（金）午後 6 時 30 分～
3. 開 催 地 野沢地区 道の駅「よりっせ」
4. 参 加 者 野沢地区自治区連絡協議会会長ほか 14 名
5. 出席議員 武藤 道廣、清野 佐一、多賀 剛、青木 照夫、長谷沼 清吉、鈴木 満子、渡部 憲、猪俣 常三、小柴 敬
6. 内 容 以下のとおり
司会進行：多賀 剛
議員代表挨拶：武藤 道廣
区長挨拶：野沢地区自治区長連絡協議会副会長 小柴 正意
出席議員の紹介：自己紹介
趣旨説明：清野 佐一
議会報告：青木 照夫
記録担当：小柴 敬
受付担当：渡部 憲、猪俣 常三
7. 添付書類 出席者名簿、アンケート調査

「質疑応答」

Q：9 月定例議会で伊藤議員が質問した「観光親善大使」の質問は、どうなっているのか。

A：商工観光課としては川崎、鶴見区との交流は立ち上げたが、親善大使の件は、持ち帰って協議し、検討する。

Q：「きよ彦氏」を任命してはどうか。

A：持ち帰って検討する。

Q：西会津小学校建設の質問があったが、校舎付随施設「プール、校庭」等無くてもいいのか。小中一貫にするとはいえるが、校庭が無くて、どう野外活動できるのか。プールも作らないと言っているが、町の負担が大きくなるからなのか。町民プールを利用すれば先生方の負担も軽くなるようなことを言っているが、子供たちの目線で判断してもらいたい。議員の考え方を問う。

A：議員の中でも意見はまとまっていない。町側も、審議会での答えをまとめて発表しているだけである。プールは、必要であると考え。会津坂下町の例であるが、低学年の利用時に台を使って底を高くして利用したが、台にはさまって怪我をした事例もある。議会として必要性を町に提言するため、今後、小学校に通わせる父兄の皆さんの声を聞いて対応して行きたい。機会があれば、議員の意見もまとめたい。

Q：どうして、27 年迄建築しなければいけないのか。自分は大手建設会社の方を知っているが、その人が、どうしてそんなに急に作らなければいけないのかと言っていたし、もっとつっこんだ

議論をして欲しかった。町長と議員の意思の疎通がうまくいっていないように思われる。入札時の消費税が5%であり、来年の4月には消費税率8%となり、3%上昇した分、議会での再審議が必要なのではないかと。

A：補助金の関係上、27年までの建設必要で、長くのばせなかった。

今回の入札時においても建設単価関係で不調となり、入札が延びたこともあった。消費税増税の3%の部分は、補正が必要かと思われる。

まちづくり基本条例では議会に対して報告程度であったことが、議会基本条例によって、町側は、大事なことは議会を通すとしているので、しっかりと対応して行く。

Q：補正予算を組んだあとの対応は。

A：入札不調の理由として、工賃、材料費が上がってきていることが原因だった。その時は、上乘せするという事で契約が成立した。消費税率3%あがったときは、来年度予算で手当てするようになるだろう。

議会基本条例を元に、新しい事業等に対して、どれだけ費用がかかるのかなど、説明を町に対して求めて行くつもりだ。

介護保険計画等、基本構想についても議会に提案しなければならない。27年4月以降に関しては、その都度対応して行きたい。

Q：以前、町役場に「少子化の底はいつになるのか」問い合わせしていたが、答えが出てこない。余計な施設を作るのも無駄であるし、現在いらなくなった施設をどのように利用できるかをよく考えて欲しい。それらを考える議会内部の部門はあるのか。また、議会の考えを問う。

A：全国的に少子化がすすんでおり、「いつ底か」と問われても見えてこないし、予測不能である。子供が少なくても学校は必要であり、10~15年のスパンで考えて対応して行きたい。

現中学校は、1学年3クラスの対応力を持っている。ここ10年先ぐらいは、小学校は2クラス程度と考えている。

空いている部分はコミュニティ施設、保育施設として利用可能かどうか考えて対応して行きたい。何とか、がんばって行きたい。

Q：町の消滅も視野にいれているのか。

A：そうならないよう歯止めをかけて行けるよう、努力して行きたい。人口減少に対しては、真剣に考え、対応して行きたい。

Q：プール、校庭の話が出たが、子供の母親などの声を拾っていない。新しい学校に対して、「意見を聞いてもらえない。」という声を聞いた。ぜひ声を拾って欲しい。

A：「プールを作って欲しい」という意見は聞いている。今後、関係する団体や組織との話し合いの場を設けたいと思っている。

Q：現在小学生2人の親です。子供たちは小学校が合併して友達が増えたといって喜んでいるが、どうしたら合併せずにすんだのかも含め、西会津の実績を向上させる様な方向に持って行っていただきたい。小学校の中身、内容の向上を図って行っていただきたい。

尊敬されるような議員になって行って欲しいし、行政に対して、議員でまとまって対応できる実力をつけて欲しい。合併しない自立の町を選択したが、その先頭になって行って欲しいし、他の町村の手本になるよう、また、住民をバックアップしていけるような議会活動をして行って欲しい。

A：議会は、町民の代弁者であるし、今後そのように対応して行きたい。

小学校に関しては、泉崎村のような、皆さんが関心を持てるような学校に育てて行きたい。

政策提言まで持っていけるような議会にしていきたいので、皆さん方の意見もよろしくお願ひしたい。

Q：平成16年に合併せずに自立の道を選んだそのわけは。

A：自立の背景に、平成の大合併があった（喜多方市を中心とした）。メリット、デメリットを検討し、町民に説明し、自立の道を選んだ。特色ある町づくり、事業の継続で人口維持が可能と思っていた。アンケート結果も半数が自立を望んだ。

昔は鉄道が交通手段であり、その沿線が発達してきた。いまや、幹線道路、高速道路が中心と

なって町が発達してきている。当時はケーブルテレビ、高速道路等があり、行政レベルが高かったし、合併しないことが町民のためになると考えた。

国の話では、30～50万人の人口単位で、消防、下水処理等対応するような考えであり、会津では北会津一箇所での対応というわが町にとっては不安があった。同時に、道州制の話も持ち上がり、末端の地方自治が脅かされる不安もあった。明治以降、平成の大合併まで150年、住民の福祉を考え、行政レベルを変えない自立の道を選んだと理解している。

(提案事項)

○将来に向かった提案をしたい。

西会津には49号国道、磐越高速道がある。沿線沿いの山々を、全山「もみじ」「フジ」など、これからの世代に残していけるような発想をもって、また、先代の発想が後世のひとびとに感謝されるような発想をもって対応してもらいたい。

(意見)

○わが国には日本国憲法があり、「議会基本条例」「まちづくり基本条例」など必要ないと考える。

町長、議員とも4年毎に審判を受けている。公的に必要の無い条例は無用。

今回のような議会報告会も必要ない。昔は議員個人が有権者のもとを回って情報交換していた。

常に出向いて自分のため、個人として対応してもらいたい。

出来てしまった条例なのでやむを得ないが、自分の意見は意見として聞いてもらいたい。町民が、今後判断することだと考える。

(意見提言)

○今回の議会報告会が正しいかどうか判らないが、今までを考えれば画期的なことである。今まで、町民と行政の懇談会は、4年前の町長選挙後に1回だけだった。町長の説明では、これから町民との懇談会を開催すると言ったが、全然無かった。今後もしめ細かに実施して欲しい。

人口の減少、有権者数の減少等で議員削減、議員報酬の削減も考えて欲しい。

今回のような町民のとの対話の場を、数多く設けてもらいたい。

行政に対しても、同様に考える。(対話の場が必要。)

今後の対応を期待する。

(意見提言)

○議員削減は人口によりありうるが、議員報酬に関しては、全力で働いて欲しいので削減には反対する。昔から、「若者、よそ者、ばか者」が町を変えると言われたように、将来の意見提言をもとに頑張ってもらいたい。

(その他)

○各地区の議会報告会の参加人数の問い。

○流雪溝の水量配分。

○ふるさと自慢館の駐車場を望む。